

# 令和5年度秦野市健康増進計画検討委員会 議事要旨

日時：令和5年8月3日（木）午後1時30分～午後2時50分

場所：秦野市役所本舎3階A会議室

出欠状況：参加者 出席者8名 事務局 7名

## ■ 令和5年度秦野市健康増進計画検討委員会 出席者名簿

番号	区分	所属	氏名	出欠
1	学識	国際医療福祉大学 小田原保健医療学部看護学科 教授	斎藤 照代	出席
2		東海大学 体育学部生涯スポーツ学科 講師	松下 宗洋	出席
3		一般社団法人秦野伊勢原医師会会長	関野 高弘	出席
4		一般社団法人秦野伊勢原歯科医師会会長	井上 泰	出席
5		NPO法人秦野市薬剤師会会長	大島 正	出席
6	行政	神奈川県平塚保健福祉事務所秦野センター 保健福祉課長	石川 奈穂	欠席
7	地域	秦野市食生活改善推進団体 会長	小澤 美代	出席
8		秦野市民生委員児童委員協議会 児童部会長	新津 亨	出席
9	市民	一般公募による市民	黒澤 聡	出席

## 事務局

1	こども健康部長	古尾谷 明美	出席
2	こども健康部参事(兼)健康づくり課長	渋谷 ちづる	出席
3	こども健康部健康づくり課専任技幹(兼)課長代理(健康づくり担当)	服部 聡	出席
4	こども健康部健康づくり課健康づくり担当 技幹	大澤 由香	出席
5	こども健康部健康づくり課健康づくり担当 主査	北村 満美	出席
6	こども健康部こども家庭支援課親子健康担当 技幹	大場 葉留美	出席
7	福祉部高齢介護課 高齢者支援担当 技幹	金井 ひかり	出席

## ■ 会議次第：

- 1 開会
- 2 委嘱状交付（机上交付）
- 3 あいさつ
- 4 議事
  - (1) 秦野市健康増進計画（健康はだの21）第4期計画の評価について
  - (2) 秦野市健康増進計画（健康はだの21）第5期骨子（案）について
- 5 その他
- 6 閉会

## ■ 事前送付資料：

健康増進計画（健康はだの21）第4期計画進行管理シート

（資料1）

健康増進計画の推進に関する検討委員会評価票 (資料2)  
 第4期健康はだの21体系図 (資料3)

■当日配布資料：

秦野市健康増進計画（健康はだの21）第5期骨子（案） (資料4)  
 秦野市健康増進計画 健康はだの21（第5期）策定スケジュール (資料5)  
 令和5年度秦野市健康増進計画検討委員会出席者名簿 (別紙1)

■要旨：

事務局：本日、初めに委嘱状の交付について、1名の委員変更がございました。

民生委員児童委員協議会の改正に伴い、新たに新津委員が就任する件について、ご快諾いただいておりますので、後ほど、御紹介いたします。

— 配布資料及び事前送付資料の確認 —

本日の委員会は、定数9名のうち、6名の委員にご出席をいただいておりますので、秦野市健康増進計画検討委員会 規則第5条第2項の規定により会議が成立していることをご報告します。

それでは、只今から、令和5年度 秦野市健康増進計画検討委員会を開催します。

開会に当たり、古尾谷こども健康部長から、ごあいさつ申し上げます。

- こども健康部長あいさつ —
- 各委員あいさつ —
- 事務局あいさつ —

4 議事

事務局 (健康づくり課長)	秦野市健康増進計画検討委員会規則第5条の規定により、会議の進行を斎藤委員長にお願いします。
<b>議事1 秦野市健康増進計画（健康はだの21）第4期計画の評価について</b>	
斎藤委員長	それでは、会議次第に沿って、議事を進めます。 議事1の「秦野市健康増進計画第4期計画の評価について」、事務局から説明をお願いします。
事務局	<p>《資料1 健康増進計画（健康はだの21）第4期計画進行管理シートについて》 本市健康増進施策の取組一覧です。右から2行目、各事業について、担当課による評価がA～Dのいずれかで記載しています。</p> <p>《資料2 健康増進計画の推進に関する検討委員会評価票について》 第4期計画における重点施策の指標一覧です。目標の達成度に応じて指標評価欄に「◎目標達成」「○改善」「△未達成」「評価できない」のいずれかを記載しています。また今回は全体自己評価欄を設け、事前に、全体自己評価をA～Eにいずれかを記載してお送りしています。この全体自己評価をもとに、資料</p>

	<p>1の取組評価も踏まえながら、最終の全体評価を決定していただきたいと思いをます。また審議の内容を評価理由とする予定です。</p> <p>《資料3第4期健康はだの21体系図について》</p> <p>参考にご覧ください。</p>
斎藤委員長	<p>それでは、資料2「全体評価票」の順に、「全体自己評価」を確認しながら、委員会としての「全体評価」をまとめます。</p> <p>取組分野ごとに、皆様のご意見などを伺いながら、A～Eの評価（A：推進できた/B：概ね推進できた/C：推進できたが努力が必要/D：推進できなかった/E：事業の見直しや改善が必要）をつけていきます。</p> <p>まず、基本の方向性I「健康を支援するコミュニティの実現」取組分野1「社会的つながり」についてです。</p> <p>事務局から、補足説明がありましたら、お願いします。</p>
<b>【基本の方向性I「健康を支援するコミュニティの実現」】</b>	
<b>《I-1 社会的つながり》</b>	
事務局	<p>ご説明に入る前に、石川委員からのご意見をご報告します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体自己評価Bの中でもAに近いBと、そうではないBがある。</li> <li>・目標値に達してはいないものの、平成29年度より割合のあがったもの、現状維持されたものは新型コロナウイルス下でよく健闘されたと感じる。I-1（社会的なつながり）、II-4（喫煙）、II-5（歯・口腔）などはAに近いと判断した。</li> <li>・逆に全体自己評価Bであっても、平成29年度よりも下回っていたものは課題の分析を進めていくとよいと思う。</li> <li>・5年で結果が出るものと評価に時間がかかるものに分けて考えるのもよいのではないかと。例えば、「II-5 20本以上自分の歯を有する人の増加」などは、若いころからの取り組みが反映されるので5年での評価ではなく、長い目で評価していてもよいのではないのでしょうか。」</li> </ul> <p>資料の説明に移ります。資料2指標評価については、◎○となっており、「全体自己評価」はBとしました。</p> <p>理由は、新型コロナウイルスの影響により縮小していた活動が以前の状態に戻りつつあります。一方で、今年度、健康推進団体の「秦野公衛会」の解散がありましたので、今後、地域づくりに関する取組を強化する必要があると考えています。</p>
斎藤委員長	<p>事務局の補足説明は終わりました。</p> <p>令和4年度は感染症対策を講じながら、昨年度よりも活動が増え、担当課が工夫して推進してこられたのではないかと思います。その中で委員の皆様から質問や意見ありましたら、お願いします。</p>

小澤委員	評価としては『A』でいいと思います。コロナ禍であっても以前の数値を保っています。BであってもAに近いと思います。
斉藤委員長	コロナ禍でだいぶ健闘したという印象があります。私は評価としてAでいいと思います。ですけれども、高齢者を対象とした東海大学体育学部との連携事業は、D評価がついています。松下委員、なにか案があればお願いします。
松下委員	新型コロナウイルス流行下で高齢者が集まるリスクがありました。また、学生の授業形態が変わり、大学の周りに住んでいないことで、学生を10～15人集めるのが難しい状況にあります。目標400人は大きな規模ですが、(今後は、)違った形で展開できればと考えています。
斉藤委員長	コロナ禍でよく頑張ったという印象です。目標が高すぎたかもしれません。注目したいのは、今後、高齢者の運動継続の場として、地域の通いの場を拡大することについてです。高齢介護課から予定について説明をお願いします。
事務局 高齢介護課	令和2年度は新型コロナウイルスの関係で実施できませんでしたが、令和3年度は地域リハビリテーションの活動と併せて、通いの場でのさわやか体操と体力測定会の実施を、リハビリテーション協会の協力を得て実施しています。中央に集めるより、各通いの場で実施する予定です。
斉藤委員長	まだ工夫が必要かと思います。第3次健康日本21をみても、自然に運動したくなる環境づくりという視点を取り入れながら、街中で運動したくなる工夫ができるといいと思います。高齢介護課でもご検討ください。 その他ご意見よろしければ、小澤委員からご意見がありましたので、A評価で進めます。 《異議なし》
<b>【基本の方向性Ⅱ「健康維持向上のための生活習慣の改善と環境づくり」】</b>	
斎藤委員長	続いて、基本の方向性Ⅱ「健康維持向上のための生活習慣の改善と環境づくり」です。こちらは、取組分野が6つ、「栄養・食生活」「身体活動」「こころの健康」「喫煙」「歯・口腔」「感染症」で、健康増進に深く関わっている分野になると思います。 6つの分野がありますので、順番に審議していきます。1つ目、「栄養・食生活」について、事務局から補足説明ありますか
<b>《Ⅱ-1 栄養・食生活》</b>	
事務局	資料2指標評価は△△○となっています。「全体自己評価」はBです。 理由は、各種事業では、調理実習を行わず、開催日程を見直し、参加者数を制限して実施しましたが、市公式ユーチューブを活用した、「離乳食」や「健康メニュー」等の料理動画の配信など、若い世代に向けた情報発信を積極的に行いました。高齢者には、通いの場等への専門職による訪問支援を強化し、低栄養予防の普及啓発など、要介護状態への移行を予防する個別支援を実施しています。今後、貧困と食生活・

	健康維持の関連事業を強化・検討していきたいと考えております。
斎藤委員長	事務局の補足説明を踏まえて、質問や意見はございませんか。
小澤委員	世代によっては、YouTubeの存在が行き渡っていないと感じています。なので、各世代に働きかけていただきたいと思います。全体としては、足りない部分はあったと思いますが、Aと評価をしました。調理実習できなかった代わりに、YouTubeで配信したり、いろいろと訪問したり、できる範囲の努力をされたと評価してAとしています。
斎藤委員長	若い世代へのアピールとしてはYouTubeの活用は非常に重要と思います。ただ、これが苦手な世代もいるので、様々な世代にあった方法での発信、世代に合わせた発信があるといいと思います。黒澤さんいかがですか。
黒澤委員	新型コロナウイルスの影響で、生活のスタイルなどが変わった中で、やり方はハイブリッドで、いろんなイベントで実施していくのがいいと思います。評価は、Aとしました。
斎藤委員長	Aということで意見が出ていますので、評価はAよろしいでしょうか。 《異議なし》
<b>《Ⅱ-2 身体活動・運動》</b>	
斎藤委員長	それでは続いて、2つめの運動習慣の確立について、事務局から補足説明はありますか。
事務局	指標評価は△と○でした。「全体自己評価」はBです。 理由は、ウォーキング講座の開催やさわやかマスターの活動は増加しました。また未病センターと協働して、自分の健康状態を把握できる機会の提供を増やし、運動を含めた未病改善の啓発を行いました。 今後、日常生活動作の増加のため、生活スタイルに合わせた方法提案が必要であり、次期計画に向けて具体策を検討したいと思います。
斎藤委員長	説明を踏まえて、委員の皆様から質問や意見等ありますか。 コロナ禍でも頑張ってすすめられたなど感心しています。 なかなか運動はできないというデータがある中で、産業分野はテレワークの普及で難しいので、秦野市の方は大変頑張ってもらっていると感心しています。松下先生いかがですか。
松下委員	取組は、できることをしっかりやっているという印象を持ちました。数値的な改善は難しいので、目標値は考えていかなければならないと思います。例えば、イの健康教育事業は、指標が「アンケートで『運動を実践・継続できる』割合」100%であり、なかなか難しい。目標が厳しい部分がある。 そういう点を考慮すると、できることをしっかりしたということで、Aでよろしいかと思います。
斎藤委員長	その他、皆さんご意見ありましたら、お願いします。

小澤委員	質問ですが、資料2の適正体重を維持する人の割合の項目は、栄養・食生活に入るのではないかと思います。
事務局	ご指摘のとおり、2-2ではなく、2-1「栄養・食生活」に変更します。
斎藤委員長	2-1でご理解いただけたらと思います。 この評価につきましては、Aというご意見がでていますので、Aという評価で進めます。 《異議なし》
<b>《Ⅱ-3 こころの健康・休養》</b>	
斎藤委員長	それでは3つ目です。こころの健康について、事務局より補足説明をお願いします。
事務局	指標評価は◎◎△でした。「全体自己評価」はAです。 理由としましては、若い世代へのカード配布の啓発により、アクセス数が伸びるなど啓発の効果が出ています。自殺対策推進計画と連動しながら、睡眠による休養の必要性を啓発していきます。
斎藤委員長	委員から質問や意見があれば、お願いします。
小澤委員	これはAでいいと思います。成果があったと思われるのでAと思います。アクセス数が伸びているという点は、注目したいところですね。とてもよく取り組んでらっしゃると思います。
斎藤委員長	例えば、職域など相談窓口の情報提供はどのようにされていますか。
事務局	職域連携ネットワーク会議で、本市と平塚保健福祉事務所秦野センター、伊勢原市、地域一体となり、民間企業に参加いただいて連携を図っています。
斎藤委員長	令和2年度の自殺の統計をみたときに、驚いたのですが、こどもの自殺が多く、過去最悪の結果でした。特に、一番9月が多いと言われています。夏休みに入っているところと思いますが、秦野市として対策を講じていれば教えていただけますか。
事務局	夏休み明けに、こころの体温計のカードを配ることを考えています。学校と相談して、夏休み明けすぐに配る予定です。
斎藤委員長	ぜひお願いしたいと思います。歯止めをかけないといけない。 それでは、Aという評価が出ていますので、Aで進めてまいります。 《異議なし》
<b>《Ⅱ-4 喫煙》</b>	
斎藤委員長	それでは、4つ目の喫煙についてです。事務局から説明はありますか。
事務局	指標評価は○△△◎△でした。「全体自己評価」はBです。 喫煙防止教育の実施校を前年より増加できました。母子保健における、喫煙指導では、各家庭に応じた説明を実施しました。 今後、喫煙防止教育について、全校実施の目標に達することが難しいため、学

	校教育課や学校保健委員会とのタイアップや実施方法の検討を行います。喫煙防止教育内において、たばこを切り口に、依存防止についての啓発を図りたいと考えています。
斎藤委員長	質問ありますか。 たばこは、ゲートウェイドラッグという観点での取組みが重要だと思います。
関野委員	乳幼児健診での禁煙支援のところ、父親の禁煙率が上がっているのに、目標値を70%にずっと据え置いているのは問題だと思いますが、いかがでしょうか。
事務局 こども家庭支援課	父親の禁煙率が上がっているので、今後、目標値を検討します。
斎藤委員長	実績に応じて、目標値は変えていくといいと思います。 大島委員、たばこに対して、薬でやめる時代になっていますが、お薬の供給は現状どうでしょうか。
大島委員	禁煙の薬に関しては、間に合っていないという話は聞いていません。
斎藤委員長	いまは大丈夫ですね。 その他、意見はよろしいですか。これはBのままで、よろしいですか。 《異議なし》 目標はまた見直していただきまして、Bの評価で継続します。
<b>《Ⅱ-5 歯・口腔》</b>	
斎藤委員長	5つ目、「歯と口腔」の分野です。事務局、補足説明ありますか。
事務局	指標評価は、◎◎◎△、「全体自己評価」はBです。 理由としまして、歯周病検診は前年度よりわずかに増加しました。口腔がん検診は時期をずらして実施しました。介護予防において、口腔ケア個別支援や訪問支援を強化しています。 今後も、ひきつづき、オーラルフレイルの普及啓発が必要であると考えています。
斎藤委員長	委員の皆様の方から、質問や意見はありませんか。
井上委員	歯周病検診ですが、令和3年度は（受診率が）落ち込み、複合型受診券が見つらいという意見がありますが、若干伸びています。市民が受診券を見慣れてきたのかもしれませんが。 口腔ケア講演会に関しては、令和4年度は人数制限して、最大定員を減らして実施しました。 口腔がん検診は、マンパワーが足りていません。今、講習会を受けて資格者を増やしています。東海大学と協力して増やしていきたいと思っています。目標値が70（人）なっていますが、他の市が70ぐらいで設定しているのか。 一人ひとりの検診に時間がかかるので、1回20人ぐらいが限界です。そのため、50人が最大です。70人の指標は検討が必要かと思います。
事務局	目標値ですけど、5年間の計画で、当初設定して、最終目標値を定め、毎年

	増やしていくつもりでした。口腔がん検診の目標値は、歯科医師会の先生と相談しないで担当のみで設定したかもしれません。
井上委員	本当はこれくらいいった方がいいと思いますが、マンパワーが足りず申し訳ありません。担当と相談します。
事務局	この間、口腔がん検診の場所を見せていただいた中で、施設のにも、先生方の人数からも、丁寧に1人1人見るという関係上、やはり限界がありそうでした。実施回数や場所など、検討が必要と思います。今後、目標値を定めるときには、（歯科医師会とも）よく相談させていただいた上で決定させていただきたいと思います。
斎藤委員長	やはり実現可能性のある目標値を設定しないと、到達できませんので、実際に従事する先生のご意見も聞いていただく必要があると思います。 Bという評価でよろしいですか。 《異議なし》 それではBとしたいと思います。オーラルフレイルの取組も継続してお願いします。
<b>《Ⅱ-5 感染症》</b>	
斎藤委員長	6つ目、「感染症」の分野について、事務局から補足説明をお願いします。
事務局	指標評価は、◎◎「評価できない」、「全体自己評価」はAです。理由としましては、新型感染症流行下において、適切にタイムリーな情報発信を行いました。新型インフルエンザ等対応訓練の実施については、新型感染症への対応を受けて実施しておりませんので、「評価できない」としています。今後も、高齢者インフルエンザ予防接種や、肺炎球菌ワクチンの接種勧奨を継続したいと考えています。
斎藤委員長	委員の皆様の方から、質問や意見はありませんか。
関野委員	高齢者のインフルエンザの接種率は50%を超えていてよろしいかと思いますが、乳幼児の予防接種、麻疹風疹の予防接種は令和4年度の88.0%は非常に低い数値です。これだと麻疹が広がる可能性があります。早急に対策を取らなければならないと思います。 この接種率は、どのように出していますか。1歳6か月健診で受けていない人がこれくらいいるのでしょうか。この後、接種率が上がっているのでしょうか。
斎藤委員長	麻疹に関しては、今年また流行の報道がありましたね。非常に感染力が強いので、ワクチンを打っておかないと、大変危険だというのは意見のとおりだと思います。
事務局 こども家庭支援課	出し方の部分はすぐに確認ができませんが、接種率が低いのは、問題と捉えていましたので、健診の中で、未接種の方に勧奨しています。
斎藤委員長	ぜひ積極的な勧奨をしていただけたらと思います。高齢者の肺炎球菌ワクチンについて、低いと思います。

事務局	全国的な接種率と比較すると、本市は比較的高いというデータがあります。
関野委員	65歳になった方の接種率が目標値ですね。下がっているので、接種の効果を伝えていかなければならない。
斎藤委員長	ちゃんと勧奨接種していく必要があります。高齢者施設等で伝える機会があれば、効果的にたくさんの対象者に伝えられるかもしれません。また、今は65歳の方は働いています。定年延長がどんどん増える時代です。先ほどお話しした職域連携の会議とタイアップしてアピールされるのもいいかもしれません。 では感染症に関しまして、関野先生、どうでしょうか。
関野委員	気になる数字があるとAとは言えませんね。Bでしょうか。
斎藤委員長	では努力していただきたい部分もありましたので、Bとします。 《異議なし》
<b>【基本の方向性Ⅲ「生活習慣病の重症化予防」】</b>	
斎藤委員長	最後に、Ⅲ「生活習慣病の重症化予防」に移ります。2つの取組分野「がん」と「生活習慣病」です。まず、「がん」について、事務局お願いします。
<b>《Ⅲ-1 がん》</b>	
事務局	指標評価は△と○、「全体自己評価」はBです。 理由としましては、普及啓発では、連携企業等に協力を依頼し、周知の機会を増やしました。受診率向上に向けて、子宮頸がん検診の女性医師による実施や、無料クーポン券利用率の増加を検討していきます。
斎藤委員長	委員の皆様からご意見いかがでしょうか。 がん検診の受診率上がりませんね。これでも結構、努力されていますね。コール・リコールや、いわゆる説明勧奨など、ナッジ理論を使い、工夫したりされています。何か戦略がありましたら教えてください。 日本はがんが一番命を奪っていますし、2人に1人ががんになっています。早く見つけて早く直すは基本かと思えます。検診は重要ですけども、なかなか諸外国と比べて低いという現状は厳しいですね。やはり（検診受診率を）まず上げたいと思いますが、なにか工夫など、いまの取組ありましたら教えてください。
事務局	いままでもナッジ理論を取り入れてきましたが、今回、青森大学の竹林先生に御指導いただきました。秦野市のがん検診の特徴として、高齢者が、がん検診の受診率を支えています。 無料であっても受けない状況があり、子宮頸がんと乳がんの受診率を何としてもあげようと、ご指導の元、QRコードで簡単に予約ができるように変更しました。それから何をすればいいのか明確にするため、「届いたら予約と受診」ということを明記しました。 最初は反応が良かったのですが、いま、反応が落ちてきたので、こ

	<p>こでまたリコールをする予定です。広報と個別通知を、子宮頸がんだけでなく、乳がんも通知するよう変更しました。</p> <p>それから、レディースデーを2日間から3日間に増やして、土曜と日曜日に開催しています。お子さんがいらしても、受けられる機会を多く作っています。女性ががん検診を受けやすいよう、女性医師による子宮頸がん検診を受けられる集団検診と、産科婦人科の先生方の協力を得て、女性医師がいるところは、女性医師の診察ができるというPRをし、検診だけではなくて、婦人科的な相談も受けられますと、検診を受けるメリットをPRしています。</p>
斎藤委員長	<p>そうですね。若い世代、子宮頸がんとか狙いたいですね。松下先生、大学生にどうアプローチしたらいいでしょうか。</p>
松下委員	<p>がん検診の受診率で、年代的にどこが少ないかによって、つまり、ターゲットによっては平日の方がいいという方もいらっしゃると思います。ターゲットをより明確にした方がいいですね。女子大生の中では、がん検診の話は日常の会話にはでてこないです。</p>
斎藤委員長	<p>確かに。企業とタイアップされたということでしたが、大学とタイアップするのもいいかもしれませんね。若い女性はたくさんいると思いますね、大学や学校側に。もっと早い段階から、性教育にからめて、将来自分の体を守っていくためには、検診も重要だよねという入り方も効果的かもしれません。この連携企業での効果はあまりなかったでしょうか。</p>
事務局	<p>秦野市のこれまでのがん検診の申込みが、前年度に申込をする仕組みでした。令和3年度には、当年度に申込みをして、受けられる仕組みに変更しました。</p> <p>連携企業には、翌年度の申し込みを代行していただくこともあり、各連携企業に500枚程度配布しています。必ず手渡しで渡している効果はあると思います。</p>
斎藤委員長	<p>がんを意識する年齢は、中高年だと思います。この方たちがたくさんいるのは職域であり、労働安全衛生法の健診はやりますが、がん検診の項目はないので、全くやらないこともあります。そこに入り込む余地があるのかなと思います。</p> <p>いまのインセンティブを付けたやり方もいいと思いますが、地域職域連携の中で、がん検診をテーマにして、どう受診率を高めるか、職域とタイアップ出来たら、もっと数字があがらないかなと期待できますね。</p>

事務局	先日の（職域連携会議の）研修で、がん検診をテーマにあげました。今、働いてる方の年代が、定年延長で年齢があがっていますので、今後、労働者世代でのがんサバイバーが増える可能性があるという内容でした。（各民間企業の人事労務担当者等が）その知識を持ち帰り、自身の会社の中でどのような取り組みが行われているか確認しながら、進めているところです。
斎藤委員長	ぜひ連携という形で進められたらと思います。 これに関しては、Bでよろしいでしょうか。 《異議なし》 では、Bとしたいと思います。
<b>《Ⅲ-2 生活習慣病》</b>	
斎藤委員長	最後に、「生活習慣病」について、事務局から補足はありますか。
事務局	指標評価は△△◎、「全体自己評価」はBでした。 理由としましては、受診率向上の取組である「健康ポイントラリー」の応募者が増加し、参加後に良い変化があったという割合が増加しました。また、健康状況不明者への受診勧奨を実施しましたが、電話勧奨者の受診率は低下しているため、継続して取組むが必要と考えています。
斎藤委員長	委員の皆様の方から、質問や意見はありませんか。 新津委員、何か意見ありましたらいただけますか。
新津委員	私自身、市役所から健診通知が来ています。そうやって通知をしていただけると、とても分かりやすい。この数字はどうか分からないが、自分自身で人間ドックを受けている方もいると思います。 自分でやっている人もいると思うので、達成率はもっと上がるのかなという気はしますが、市役所が受診のお知らせや無料券を送ってくださると、とてもありがたいと思います。
斎藤委員長	きちっと勧奨していくことが、効果的だと思います。
新津委員	もう一点、新型コロナワクチン接種について、1回目はとても（電話が）つながりにくくて、予約とるのが大変でした。2回目以降は1回受けた方は、通知が来て、予約をしなくても受けられるようになりました。（他地域に住む）友人の話を知ると、毎回、自分で予約しているそうで、秦野市はいいねという話になります。本当にありがたい、先ほどの分野となりますが、付け加えです。

齋藤委員長	<p>感染症のところですね。他のところよりも利便性が非常に高いのは、大変な努力のおかげだと思います。</p> <p>また、お話のとおり、ドックを受けられている方の結果は反映させられませんよね。もしかしたらもっと高いかもしれませんね。</p> <p>特定健診と特定保健指導は、神奈川県は全体的に低いです。不思議だと思いますが、どういう分析がなされているか、わかったら教えていただけますか。</p>
事務局	<p>がん検診についても全く同じですが、なぜ神奈川県だけ低いのかはわかっていません。</p>
齋藤委員長	<p>なかなか難しいところですね。特定健診と保健指導をなんとか(受診率及び指導率を)あげたい、世界中が注目している日本の予防政策ですから、成功させたいところですけど、正直うまくいっているとは言えそうにないですね。</p>
関野委員	<p>これは、国民健康保険の対象者のみの数値ですね。国保で人間ドック希望する方もいられますね。その方のデータは入っていないのですか。</p>
事務局	<p>入っています。まったく自費で受けている方は入っていません。</p>
関野委員	<p>人間ドックは入っていますね。</p>
齋藤委員長	<p>国民健康保険の対象者ですから、リタイアされた方とか、あるいは商店会とか個人経営の方々ですよ。例えば商店街の組合や商工会議所とのタイアップは、どうでしょうか。</p>
事務局	<p>今、商工会議所でしている生活習慣病検診は、秦野市国民健康保険の人もいるので、担当者が出向いて、本人の同意を得たうえで、健診データを市の健診として取り扱い、受診率に含められるようにしています。</p> <p>あわせて、生活習慣病検診のうち、胃がんと大腸がん検診は、40歳以上の秦野市民について、市が助成をして、その検診を元に精密検査の案内などフォローしています。また、女性の子宮頸がんも乳がんも含められないかと調整を始めています。</p>
齋藤委員長	<p>とても大切な取り組みだと思います。市単独ではなく、影響力のある人たちと組むことで、効果的にアピールできると思います。ぜひ進めていただけたらと思います。</p> <p>あと、注目したいのは健康ポイントプログラムはA評価ですね。やはりインセンティブは、効果的だなと思います。</p> <p>黒沢さんいかがですか。やはり市民の立場でもそういう取組が、入りやすいですか。</p>
黒澤委員	<p>参加しやすいと思います。</p>
齋藤委員長	<p>参考にさせていただけるといいと思いました。</p> <p>いかがでしょうか、皆様、評価のところはBでいいですかね。よろしいでしょうか。</p>

	<p>《異議なし》</p> <p>ではこのままでBとしたいと思います。</p>
斎藤委員長	<p>それでは全ての評価を終了いたしました。その他、なにか全体を通してありますでしょうか。</p> <p>(意見なし)</p> <p>では、ただ今いただきましたご意見を第4期の計画における実施評価としたいと思います。</p>
<b>議事2 秦野市健康増進計画（健康はだの21）第5期骨子（案）について</b>	
斎藤委員長	<p>議題2「秦野市健康増進計画（健康はだの21）第5期骨子（案）について」事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>第5期健康はだの21骨子（案）の概要についてです。第5期計画では、市民一人ひとりが取り組む健康づくりの展開、より実効性をもつ取組の推進を盛り込み、5つのライフステージや女性の健康という視点を追加する予定です。</p> <p>計画の構成については、第4期を踏襲し、1-1環境づくり、2-1栄養、2-2身体活動、3-1がん検診、3-2生活習慣の5つの分野を重点項目とする予定です。</p> <p>また、推進協議会についてご報告です。6月29日に秦野市健康増進計画推進協議会を開催しました。今年度は、計画改定年度のため、グループワークを行い、令和4年度に実施した市民健康状況アンケート調査の結果の報告と、それを踏まえて、健康課題になり得る課題について意見交換を行いました。協議会でいただいた意見についても、今後、計画素案に反映していきたいと思っております。</p>
斎藤委員長	<p>委員の皆様の方から、質問や意見はありませんか。</p> <p>小澤委員、女性の健康に注目をしているようですが、なにかありますでしょうか。</p>
小澤委員	<p>そうですね。若い女性がね。</p>
斎藤委員長	<p>本日は肥満が話題になっておりましたが、女性のやせについては、日本は非常に特異な数字を出しているところがありますので、それを何とかしないといけませんね。他によろしいですか。</p> <p>(意見なし)</p> <p>特にご意見がなければ、これで終了とさせていただきます。お疲れさまでした。</p> <p>それでは、これをもちまして令和5年度の新しい健康増進計画検討委員会の議事は終了となります。お疲れ様でした。</p>

5 閉会

**事務局：**長時間にわたり、ご審議いただき、ありがとうございました。本日皆様のいただいた意見をもとに今後の計画に繋がるよう、計画を推進していきたいと思えます。

これをもちまして、令和5年度健康増進計画検討委員会を閉会します。ありがとうございました。

(閉会)